

令和八年度春季入学(秋季募集)

熊本県立大学大学院 文学研究科日本語日本文学専攻 博士前期課程

一般選抜入学試験問題

― 注意事項 ―

- 1 試験開始及び終了は、監督者の時計が基準です。監督者の指示に従ってください。
- 2 試験開始後は四十分経過するまで退室できません。また、試験終了の十分前から退室できません。
- 3 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開いて中を見てはいけません。
- 4 解答用紙への受験番号などの記入は試験開始の合図があつてから始めてください。
- 5 設問は 一 二 三 の三題です。解答すべき問題は次の通りです。
 - 一 全員必須
 - 二 ①②とも全員必須
 - 三 ③～⑩のうちから二問のみを選択
- 6 一 の解答については解答用紙(設問 一)に記すこと。また、二 と 三 の解答は全て解答用紙(設問 二・三)に記載し、各解答用紙の冒頭の番号欄には、どの問題に対する解答かわかるように、①～⑩までの番号のいずれかを記してください。
- 7 解答用紙は五枚用意されています。追加で解答用紙が必要な場合は静かに手を挙げてください。
- 8 答案回収時に解答用紙を提出しない場合、本科目は採点されません。
- 9 試験終了後、この問題用紙は持ち帰ってください。

一 次の文章を読んで後の問題に答えよ。

著作権保護の観点から、問題文は掲載していません。

出典：国書データベース（国文学研究資料館所蔵 <https://doi.org/10.20730/200014194>）より

問一 右の文学作品の名前を記せ。

問二 右の文章の作者の名前を記せ。

問三 傍線部ア、イの仮名の字母を記せ。

問四 傍線部A・Bを翻字せよ。

問五 傍線部X・Yを口語訳せよ。

問六 本文中で言及される和歌の功德のうち、人間の心に関わるものを二つ選び、各々の内容を簡潔に説明せよ。

二 次の問題に答えよ。(二問とも必須)

① 接辞の「ジン(人)」あるいは「ニン(人)」が左の語群に下接する場合、どちらが選択されるかについて示した上で、双方の使い分けの傾向について説明せよ。

〈語群〉一般 請け負い 見物 社会 出版 自由 販売 被告 文化

② 平安時代から鎌倉時代までの日記文学を平仮名の成立と関わらせて文学史的に整理しつつ、具体的な作品を取り上げ、その特質を論ぜよ。

三 次の問題の中から二問を選択して答えよ。(二問のみ選択)

③ 左の文(A)に見られる日本語学習者の誤用(逸脱)について、どのようなことが原因で起こる誤用と考えられるか、詳しく説明せよ。「語幹」という術語は必ず使用すること。

(文脈…自身が見たオーロラの美しさについて語る場面。)

A…アラスカでオーロラを見ってきました。きれかったです。

④ 日本におけるプロレタリア文学の発生・展開について、(社会的)背景を踏まえつつ、作家・作品などの固有名詞も挙げながら述べよ。

⑤ 日本語の諸方言に見られる現象を例として挙げつつ、周圈論的分布と逆周圈論的分布の共通点と相違点を説明せよ。

⑥ 一六五〇年刊の安原貞室『片言』が示す左の記述について、才段長音の史的变化を踏まえて説明せよ。

著作権保護の観点から、問題文は掲載していません。

⑦ 『万葉集』に収められた柿本人麻呂の歌の特徴を述べ、且つ、後世への影響について説明せよ。

⑧ 中国文学史における「小説」の概念の変遷を踏まえて、中国小説史について概説せよ。

⑨ 上田秋成と本居宣長の論争について、その概要を論ぜよ。

⑩ 次に掲げるのは、天野文雄『能楽手帖』（一九八九年、角川ソフィア文庫）「おわりに」で、世阿弥作の能〈忠度〉の構想に言及しつつ、世阿弥の能楽論『花鏡』中の一節を解説した部分である。

著作権保護の観点から、問題文は掲載していません。

右の説をふまえ、「能」という中世芸能について、当時の享受形態（鑑賞のされ方）を考えた上で、ここで「能を知る」とはどういうことか、説明せよ。

以下余白